

平成21年3月期 第2四半期決算説明資料

平成20年12月

ミナトエレクトロニクス株式会社



会社のプロフィール

- 商 号 ミナトエレクトロニクス株式会社
- 本社所在地 神奈川県横浜市都筑区南山田町4105番地
- 代 表 者 代表取締役社長 遠藤 窮
- 設 立 昭和31年12月17日
- 事 業 内 容
 1. 電子機器、電気測定装置の製造、販売
 2. コンピュータ・システムのソフトウェア開発、販売
 3. その他附帯する業務

- 資 本 金 1, 245, 708千円(平成20年9月30日現在)
- 従 業 員 連結86名(平成20年9月30日現在)
- 役 員 取締役会長 板津弘典
取締役社長 遠藤 窮
(代表取締役)
常務取締役 須永牧夫
取 締 役 伊藤達昭
取 締 役 遠藤直行
取 締 役 柳瀬武泰
取 締 役 熊田恒雄
常勤監査役 加藤 勇
監 査 役 古瀬 助
監 査 役 國重慎二

- 関 連 会 社 高崎アトム工業株式会社

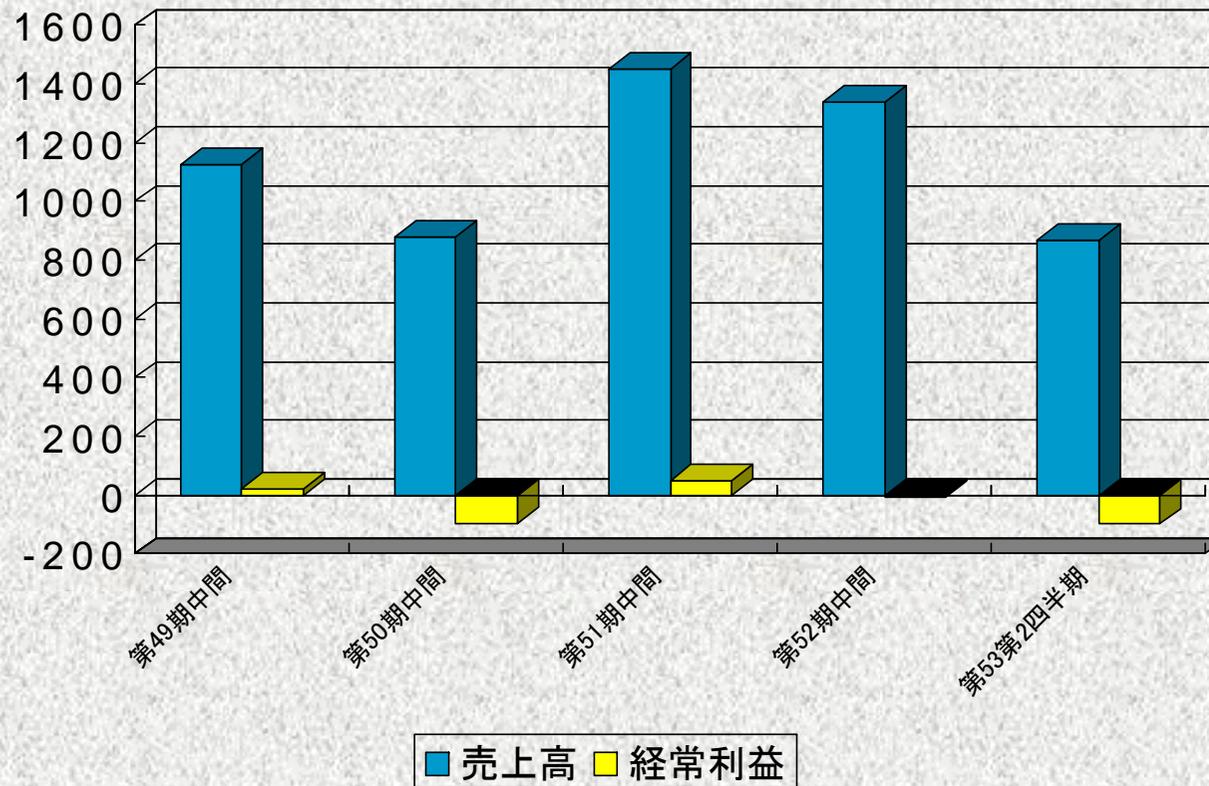
中間期営業の概況

当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)における当社グループの連結売上高は、計測関連事業では主力でありますデバイスプログラマが携帯電話、デジタルカメラ向けの販売ならびに遊戯機器業界への売上が順調であったことからほぼ計画どおりに売上を確保することが出来ましたが、テストシステムのLCD画質検査装置が主要顧客の設備投資計画の再々見直しの影響を受け低調に推移しました。またシステム関連事業も前年同期に大幅に売上を伸ばしましたドライブシュミレータが子会社の売却によりその売上がなくなりましたことと、タッチパネルにおいて売上を予定しておりました複数の大型案件が顧客の事情により順延、見直しとなった影響から連結売上は対前年同期に比べ35.2%減収の867百万円となりました。

また、厳しさを増す現在の経済状況を踏まえ、棚卸資産の見直しを行った結果、一部の棚卸資産について棚卸資産の評価損61百万円を売上原価に計上したことなどにより営業損失89百万円、経常損失99百万円と対前年同期に比べ大幅な減益となりましたことに加え、特別損失に株価低迷の影響から手持ち投資有価証券の評価損10百万円を計上したため四半期純損失112百万円となりました。

連結売上高、経常利益推移

(単位:百万円)



連結ハイライト(主な連結経営指標等)

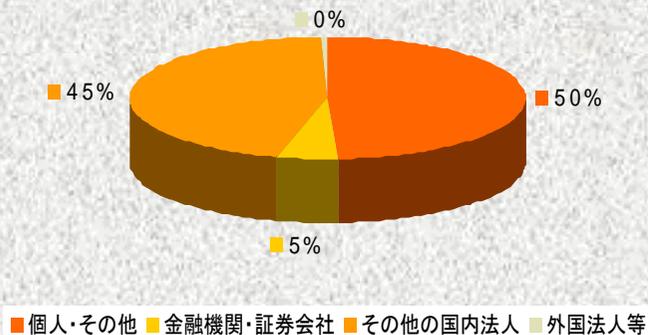
回次	第53期第2四半期 累計期間	第52期 前会計年度
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高 (千円)	867,848	2,426,455
経常利益 (千円)	△99,472	20,843
当期純利益 (千円)	△112,817	△125,968
純資産額 (千円)	1,152,766	1,262,459
1株当たり純資産額 (円)	83.86	91.84
1株当たり当期純利益 (円)	△8.20	△9.16
自己資本比率 (%)	42.0	42.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△30,691	△69,463
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△5,408	△22,886
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	88,242	△255,991
現金及び現金同等物の中間期末残高 (千円)	434,910	382,768

株式の状況(平成20年9月末現在)

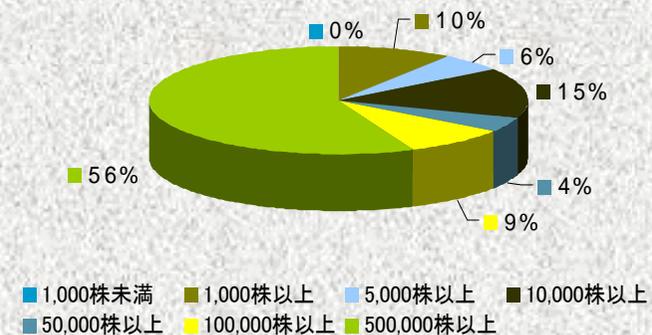
- 会社が発行する株式の総数 25,000,000株
- 発行済株式の総数 13,751,152株
- 株主数 1,127名
- 大株主の状況

大株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
JAIC-PE1号投資事業有限責任組合	4,636	33.71
ウインテスト株式会社	1,546	11.24
遠藤 窮	1,005	7.31
遠藤 直行	554	4.03
遠藤 澄江	350	2.56
株式会社みずほ銀行	297	2.16

所有者別分布状況



所有者株式数別分布状況



連結貸借対照表

(単位:千円)

	第53期第2四半期末		第53期第2四半期末
流動資産		流動負債	
現金及び預金	484,910	支払手形及び買掛金	234,421
受取手形及び売掛金	525,076	短期借入金	464,676
製品	146,025	一年以内償還予定の社債	100,080
原材料	141,546	未払法人税等	4,178
仕掛品	187,179	賞与引当金	31,879
その他	8,642	製品保証引当金	4,000
貸倒引当金	△439	その他	31,247
流動資産合計	1,492,943	流動負債合計	870,482
固定資産		固定負債	
有形固定資産		社債	236,540
土地	805,788	長期借入金	287,012
その他	2,110,878	退職給付引当金	44,078
減価償却累計額	△1,760,878	役員退職慰労金引当金	18,713
有形固定資産合計	1,155,787	再評価に係る繰延税金負債	125,206
無形固定資産	4,796	その他	11,612
投資その他の資産		固定負債合計	723,162
その他	141,914	負債合計	1,593,645
貸倒引当金	△49,030		
投資その他の資産合計	92,884		
固定資産合計	1,253,469		
資産合計	2,746,412		

	第53期第2四半期末		第53期第2四半期末
		純資産の部	
		株主資本	
		資本金	1,245,708
		資本剰余金	1,277
		利益剰余金	△152,760
		自己株式	△798
		株主資本合計	1,093,426
		評価・換算差額等	
		その他有価証券評価差額金	6,867
		土地再評価差額金	52,473
		評価・換算差額等合計	59,340
		純資産合計	1,152,766
		負債,純資産合計	2,746,412

連結損益計算書

(単位:千円)

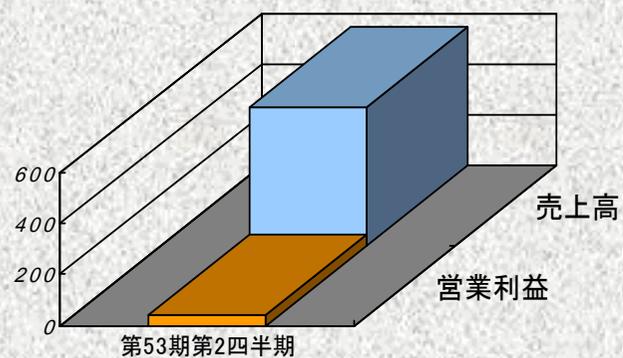
	第53期第2四半期累計期間
売上高	867,848
売上原価	699,216
売上総利益	168,631
販売費及び一般管理費	258,166
営業利益	△89,535
営業外収益	5,830
営業外費用	15,768
経常利益	△99,472
特別損失	10,369
税金等調整前四半期純利益	△109,842
法人税,住民税及び事業税	2,975
四半期純利益	△112,817

連結セグメント情報(事業の種類別セグメント)

(単位:千円)

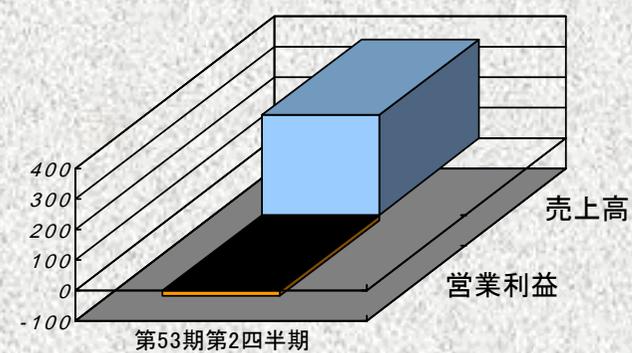
	第53期 第2四半期累計期間
売上高	867,848
計測関連事業	542,279
システム関連事業	325,568
営業利益	24,067
計測関連事業	43,281
システム関連事業	△19,214

計測関連事業



■ 営業利益 ■ 売上高

システム関連事業



■ 営業利益 ■ 売上高

通期連結業績見通し(平成21年3月期見込み)

通期の見通しにつきましては、金融市場の混乱や原材料価格の高騰などによる実体経済への影響が懸念されますが、計測関連事業はプログラマ本体の見通しに加えプログラマ周辺機器のオートハンドラが売上に貢献してくる見込であります。一方、テストシステムは顧客の設備投資の回復までには暫く時間を要することが予想されます。また、システム関連事業は当期の主要な案件であった大型案件が来期以降に順延される見通しであることからこれらに代る案件の受注に注力するとともに、タッチパネルにおいては、これまでの原価低減策がいよいよ具現化し実施できる見通しであります。上述の事項に第2四半期連結会計期間において計上いたします棚卸資産評価減などの影響額を踏まえ、通期の見通しを下記のとおり予想いたしました。

下記の業績予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

